



足立

区議会だより

発行/足立区議会
https://www.gikai-adachi.jp No. 324

第2回
定例会



足立堀之内公園の大賀ハス
(令和6年7月撮影)

足立区議会写真部 佐々木 まさひこ 撮影

区長提出議案を可決

令和6年度足立区一般会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルスワクチン接種事業、区立小学校の改築事業、予防接種事業等の予算を増額するものです。

ほか

議員提出議案を可決

若年者における医薬品のオーバードーズ(過剰摂取)対策の強化を求める意見書

ほか

令和6年第2回

定例会のあらまし

第2回定例会は、6月19日(第2号)や足立区子ども日から7月10日までの22日 計画審議会条例等、36件の間で開会しました。
区長提出議案について、すべて原案のとおり可決したほか、議員提出議案2件を全会一致で可決しました。
また、請願・陳情については、35件を継続審査とし、たほか、8件を不採択とし、3件の撤回を承認しました。



●主な内容●●●●●

- 2面●区政を問う (各会派代表・一般質問)
- 6面●議決結果(区長提出議案)
- 議決結果(議員提出議案)
- 7面●みなさんからの請願・陳情
- 委員会活動
- 議席図
- 意見の分かれた議案
- 利根川治水同盟治水大会について
- 魚沼市産フナ材の議員用名札を製作!
- 8面●定例会の流れを紹介

議員(候補者等を含む)からの寄附は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。

議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。

たとえば、お祭り・運動会・親睦旅行会・会合等の行事や、入学式・卒業式の行事に対し、寄附・お祝い・差し入れ等を行うことが禁じられています。
また、個人に対して、お祝い金(入学・卒業等)・贈り物(お歳暮・お中元等)をすることも禁じられています。
なお、例外的に罰せられない行為として、議員本人が持参する結婚祝い・香典があります。
区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

区議会からのお知らせ

銀川ゆい子議員が東京都議会議員補欠選挙に立候補したため、公職選挙法第90条の規定により、令和6年6月28日付けで区議会議員の職は自動失職となりました。
これにより、当区議会は、現員数44名となりました。

問

令和6年6月19日、21日、24日に開会した本会議で代表・一般質問を行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、区政全般について、各会派を代表して7名の議員が代表質問を、各会派及び無会派の6名の議員が一般質問を行いました。
以下、その要旨を掲載します。
なお、2次元バーコードから各質問者の録画映像をご覧になれます。

足立区議会自由民主党

未来を担う若者世代・子どもたちが愛せる足立区へ！



自由民主党 しげや 竜一 議員

持続可能な財政運営を目指して

【問】①不安定な世界情勢や急激な円安、物価高の継続等による区民生活への影響が懸念される中、予期せぬ財政需要が発生した場合、基金を積極的に活用し、区民生活・区内経済を支援すべきと考えるがどうか。
②持続可能な財政運営を進めるにあたり、今後の予算編成をどのように行っていくのか伺う。

【区長】

①区民の命と暮らしを守りぬくためにも基金を計画的に積み立てながら、一方で状況を常に注視し、真に必要な事業に財源を積極的に投入していく。
②区民の安心・活力を生み出すために真に必要な内容を見極めた上で、メリハリのある予算編成とするために、事業の優先度、費用対効果を精査していく。

未来を担う子ども・若者のために

【問】区は「こどもまんなか社会」実現のために「こども計画」の策定を検討しているが、こども・若者育成支援や少子化社会対策については、どのような点を計画に盛り込む考えか伺う。

【未来】

全国に先駆けて子どもの貧困対策に取り組み、国全体をリードしてきたという自負がある。新たな計画でも子どもの貧困対策を要すると共に、こども・若者育成支援や少子化社会対策についても区の独自性を

打ち出し、国をリードするような取り組みを構築していく。
【問】国は、虐待等を理由に家出した若者が事件・事故に巻き込まれる事態を未然に防ぐことを目的に、緊急的に避難所を設けることができる「こどもシェルター」を創設するとしている。区も国と同様に、若者に対する安全な居場所の提供や相談支援等、区としてできることをしていくべきではないか。

【未来】

子どもが非行を発端として事件・事故に巻き込まれることを未然に防ぐためにも、区内関係部署と検討していく。また、国で検討中の「こどもシェルター」の審議内容についても、状況を注視していく。

スポーツを通じて人生を心豊かに

【問】総合スポーツセンターでのバスケットボールや車いすバスケ、東武ウェルビーの区民観戦デー等、ハイレベルなスポーツを観戦する機会が増えている。今後区内外を問わず、他競技も観戦できる機会を増やすべきと思うがどうか。

【地域】

今年度は、㈱ヤクルト球団及び㈱読売巨人軍と協定を締結し、夏休みに中学生以下の子どもを対象としたプロ野球の無料観戦を実施する。現在、様々な競技関係者と意見交換をしており、引き続きスポーツを観戦する機会の拡充に努めていく。

無料観戦を実施する。現在、様々な競技関係者と意見交換をしており、引き続きスポーツを観戦する機会の拡充に努めていく。



若者に影響力のある観光大使を

【問】足立区には観光大使が存在しないが、区にゆかりのある人物を観光大使にすることで若者に興味を抱いてもらい、区のPRにつながるような取り組みをすべきではないか。

【産業経済】

区にゆかりがあり活躍している人やインフルエンサーが観光大使となることは、イベントの集客やPRにつながると考える。一方、区の顔として一時的な評判だけではなく、将来にわたってふさわしい人物かどうか、慎重な見極めが必要と考えている。

新たな子どもの居場所づくりを

【問】児童保育室利用者には、居場所があれば必ずしも児童保育室でなくてもよいというケースもある。葛飾区では空き教室を一時利用した「かつしかプラズ」という校内の居場所づくりを行っているが、足立区でも同様の取り組みを進めてはどうか。

【子ども】

児童保育室には、毎日利用しなくてもよい児童等が一定数いることから、「かつしかプラズ」も参考に、個々の状況に応じた多様な居場所の整備に取り組んでいく。

教育の機会均等と時代に即した教育の必要性について

自由民主党 杉本ゆう 議員



不公平感のない給付型奨学金へ

【問】区の給付型奨学金をより公平感のある制度とするために、全額ではなく学費の一定割合を支給する形にし、受給生の人数を増やすべきと考えるがどうか。

【学校運営】

本制度は開始から2年目ということもあり、制度を見直しながら進めている。質問での意見も含め足立区育英資金検討委員会にて検討していく。

【問】

今後、区立小・中学校において探求型学習の取り組みが必須であると考えている。既存の社会科の枠組みで地域の歴史文化を学習する品川型のスタイルと、地域を知り、地域に参画することと誇りや愛着を持つ渋谷型のスタイルのどちらが足立区に適していると考えているのか伺う。

【教育指導】

現時点でどちらが適しているのかという判断は難しい。足立区においても探求的な学習を推進したいと考えており、他地区での実践事例の情報を収集し研究していく。

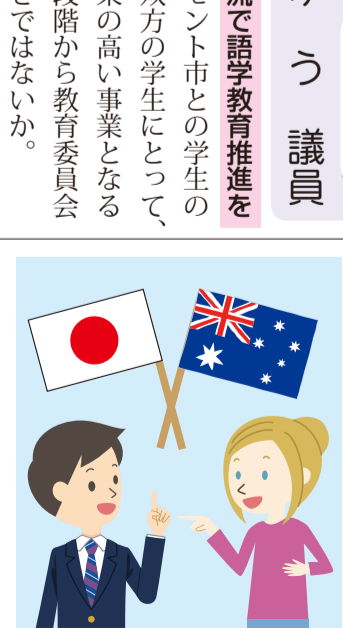
若者の考えを区政に反映させよ

【問】区は、各施策に若者が参画しやすい体制を整えるべきであり、区民評価委員等、各種審議会等へ若者の参加を促す必要があるのではないかと。

【政策経営】

「足立区審議会等」の設置及び運営に関する指針を改正し、若い世代に参画いただくことを原則とした。

【産業経済】より教育効果の高い交流となるよう、内容について教育委員会と連携し、企画等を検討していく。



インスタグラムを活用して

【問】①区外在住者が足立区に抱くマイナスイメージを払拭するために、どのようにして区外への情報発信を行うのか。
②若い世代に対する区のイメージアップを図るためにインスタグラムを活用し、専門業者への委託等により魅力的な情報発信をしていくべきと思うがどうか。

【政策経営】

①区民や企業・団体の協力を得ながらポジティブな情報を発信し、新たにSNS広告を展開するなど、プラスイメージへの転換を図っていく。
②インスタグラム利用者が興味のある区の面白い情報を発信できるよう、事業者への委託等も含め、先進事例を確認しつつ導入に向けて検討を続けていく。

観光大使の起用で魅力発信を！

【問】区にゆかりのあるスポーツ選手やユーチューバー等を観光大使として任命する制度を創設し、区の魅力を発信していくべきではないか。

【産業経済】

ユーチューバー等が観光大使となることはイベントの集客等につながるが、区の顔として将来にわたってふさわしい人物かどうか、慎重な見極めが必要と考えている。



インバウンドの受け入れ体制を

【問】東京スカイツリーを基軸に台東・墨田・江東区及び東武タワースカイタワー株式会社等が観光振興を目的に参加しているEAST TOKYO協議会がある。足立区も同協議会に参加し、インバウンドの受け入れ体制を整備すべきではないか。

【産業経済】

区がEAST TOKYO協議会に参加し、インバウンドの受け入れ体制を整備すべきではないか。

代表・一般質問(要旨)

区政を



本会議の録画映像を
区議会ホームページでご覧いただけます。
<https://www.gikai-adachi.jp>

OKYO協議会に参加する条件や、協議会側の意向等をヒアリングし、沿線自治体との連携について研究していく。

足立区議会公明党

障がい者・高齢者・若者支援と災害に強いまちづくり

公明党 長井 まさのり 議員



障がいをもつ人への福祉増進を

【問】区は、65歳未満の身体障害者手帳3級、愛の手帳4度、精神障害者保健福祉手帳1級の所持者に障がい者福祉手当4千円を支給しているが、その金額は東京23区中最低額である。物価高騰も鑑み、23区平均額まで増額すべきと考えるがどうか。

【福祉】現在の4千円から、23区中7区が支給する7千750円に増額できるように、令和7年度の予算編成に向け検討していく。

人口減少時代に対策の展望は

【問】区政100周年に向け、区は持続可能な自治体として若年女性への支援策を含めた自然減対策と共に、どのようなロードマップ、将来像を描いているのか。

【区長】子どもを望む人が出産をためらわないよう、様々な経済的負担軽減策を展開してきたが、多子世帯への支援は未着手のものがあるため、アンケート調査等を利用し必要な対策を早急に講じていこうと考えている。一方で、子どもを産み育てるためにはパートナーや社会の理解等、区では対応困難な要因もあるため、国や都の支援を活用しつつ、足りない部分を補充する施策を具体的に展開していきたいと考えている。

遺族に寄り添った支援の周知徹底を

【問】(仮称)おくやみ相談窓口開設に向けて、あだち広報やSNS等で周知すると共に、高齢者施設や葬儀関係事業者等に幅広く周知すべきではないか。

家庭内備蓄の区民への浸透を!

【問】区民の家庭内備蓄を更に進めるため、毎月19日を「あだち備蓄の日」と定め、SNS等での新たな情報発信や啓発の実施を検討すべきではないか。

【危機管理】毎月19日を「あだち備蓄の日」と定め、SNS等での新たな情報発信や啓発の実施を検討していく。



カスタマーハラスメント根絶へ

【問】顧客の理不尽な要求を認めない姿勢を示すために、専門家等を交えた検討部会を立ち上げ、カスタマーハラスメント根絶に向けた条例制定を視野に取り組むべきではないか。

【総務】厚生労働省において法律上の規制を検討していく方針が伝えられており、都は条例案の検討を進めていると聞いている。区としては、国や都の対応を注視しつつ、まずは庁内でカスタマーハラスメント対策チームを立ち上げ、具体的な検討を進めていく。

【問】(仮称)おくやみ相談窓口開設に向けて、あだち広報やSNS等で周知すると共に、高齢者施設や葬儀関係事業者等に幅広く周知すべきではないか。

住民の望む六町駅前商業施設を

【問】六町駅前区有地活用事業の事業者による計画見直しに伴う説明会では、どのような意見があり、地域の待ち望む活用事業にどう生かしていくのか伺う。

【総務】説明会では参加者から工事費の増大による撤退や規模縮小を望まない意見や、延伸期間に期限はあるのか等の質問があった。それらの意見を踏まえ、地域の期待に応えられるよう当初のコンセプトや規模を維持した上で、できる限り早い施設の開設を事業者へ要望していく。

子育てしやすい環境を整備せよ

【問】本庁舎の「赤ちゃん休憩室」におむつパック機をモデルで設置し、効果を検証の上、子育てサロンをはじめとした各施設に順次拡充する等、子育てしやすい環境整備に取り組むべきと思うがどうか。

【子ども】利用者としては、おむつを処分でき、持ち帰らずに済むのは大きなメリットとなる。一方で、赤ちゃんの利用者が多い施設はその処分への対応も必要となることから、本庁舎や保健センター等における導入の効果を関係所管と協議し、おむつパック機の庁内でのモデル設置を前向きに検討していく。

千住大川端地区周辺地域の推進と水害対策等について

公明党 いいくら 昭一 議員



水害に備え防災意識を向上させよ

【問】マイ・タイムラインは、事前に時間的予測ができる水害対策に有効で、「いつ」「誰が」「何をするか」等を示す行動計画であり、区内公立小・中学校の授業で活用している。

今年度から保護者を含めた勉強会を小・中学校各1校で開催すると聞いているが、荒川沿川の学校でも行うべきではないか。

【教育指導】長門小学校や第十二中学校の防災学習の事例を校長会等で紹介しつつ、今後、荒川沿川地域に位置する区内小・中学校の中から、防災学習の先進的な取り組みを実施する学校をモデル校として指定し、同様の取り組みを令和7年度に実施できるように目指していく。

生産人口減少時代の区の現状は

【問】現在の区内における在留外国人数とその人口比率及び国籍別人数の上位国を伺う。

また、在留外国人数及び人口比率が今後最も高くなると予想される時期を伺う。

【地域】令和6年6月1日時点で4万1千298人、人口比率は約5.9%である。国籍別では中国、韓国、フィリピンの順に多く、アジア地域が多くを占めている。また、直近で区が実施した人口推計の推計最終年である2070年にそれぞれ最大値となり、中位推計で約10万人、人口比率は17%に達する見込みである。

竹の塚地域に更なるにぎわいを

【問】EQUiAオープンにより、にぎわいや地域の期待が高まる竹ノ塚駅東口の駅ビルは、区の北の玄関口にふさわしいステーションビルとして生まれ変わるべきと考えるが、今後の方向性について伺う。

在留外国人の諸課題と竹の塚・西新井地域の街づくり

【問】千住大川端地区は、千住

在留外国人の諸課題と竹の塚・西新井地域の街づくり

公明党 くぼた 美幸 議員



エリアデザインの一地区として開発機運が高まっているため、関連する駅周辺の環境整備に向けて将来ビジョンを定め、AI等を活用したまちづくりの検討に着手すべきではないか。

【公共施設】鉄道事業者や地域住民等の関係者との意見交換を今年中に開始し、駅周辺開発区域を合わせて、AI等の活用により、まちの将来像を視覚的に共有できるように進めていく。

西新井駅東口の交通環境整備を

【問】西新井駅東口にはタクシー等が待機できる場所がなく、混雑時には大きな事故につながりかねない状態にある。将来的に民有地を含めて再開発し、広場の充実を図るべきではないか。



【工藤副区長】交通環境に課題があることを認識しているが、

日本共産党足立区議団

物価高騰・災害から、命と暮らしを守る対策を求める

日本共産党 横田 ゆう 議員



現在は物理的に適切な土地がなく、すぐに解決することが困難な状況である。東口広場充実の

ため、中長期的視点に立ち、それぞれの視点でどのような方策が考えられるか検討していく。

企業団体献金への区長の姿勢は

【問】「裏金事件」に端を発した政治と金のあり方が大きな問題となっており、金の力で政治を動かそうとする利権政治そのものである。区長はパーティーズを含めた企業団体献金についてどのような立場に立つのか。

【区長】かつて都議会議員として政治活動を行った経験から、地域回りや様々な会合への出席にあたってお金がかかる実感があり、廃止と決めつけるのは現実的ではないと考えている。

ただし、存続するとしても、国民が求める透明性や説明責任については納得しているため、今後も制度構築に向けて議論が継続することを期待している。

地震による液状化の対策強化を

【問】日本共産党区議団は、能登半島地震の被災地である輪島市と羽咋市で支援活動を行ってきた。特に液状化の被害の大きい羽咋市の状況を見ると、早期復興や在宅避難等の観点から、耐震対策と同時に液状化対策を進める必要がある。区は、能登半島地震を踏まえ、地域防災計画を見直すとしているが、液状化対策を強化すべきではないか。

【建築】木造2階建て住宅等の

大する予定であり、設置要件等を整備した上で、ドラッグストアや個人商店、介護施設等についても順次参加を募っていく。

民間賃貸住宅の家賃補助制度を

【問】東京23区中13区が民間賃貸住宅居住世帯に、家賃や初期費用の補助を行っている。足立区も高い家賃に苦しむ区民への助成に踏み出すべきではないか。

【建築】区は、ポトルネットの課題である子どもの貧困対策として、ひとり親世帯及び児童養護施設退所者世帯へ住宅セーフティネット制度を利用した家賃補助を行っている。足立区は23区の中で家賃水準が低い現状にあることから、今以上の家賃補助制度を設ける考えはない。

交通権を理念の中心にした計画を

【問】区は現在、地域公共交通計画を策定しているが、基本的な考えとして採算性が大前提になっている。交通は人間の交流を促す人権(交通権)であることを理念の中心に据える必要があると思うがどうか。

【交通対策】計画に関わる全ての関係者が連携して持続可能な輸送サービスを確保していく取り組みが計画の主であり、交通権を理念の中心に据えた計画の策定は考えていない。



「涼み処」の拡大で熱中症対策を

【問】区は、令和5年第3回定例会で「涼み処」について、「民間施設の拡大については研究する」と答弁したが、スーパーやドラッグストア、個人商店、介護施設等と呼びかけ、早急に拡大すべきではないか。

【衛生】まずはスーパー等に拡

子どもたちの笑顔が輝く学校生活を実現させよう!!

日本共産党 西の原 ゆま 議員



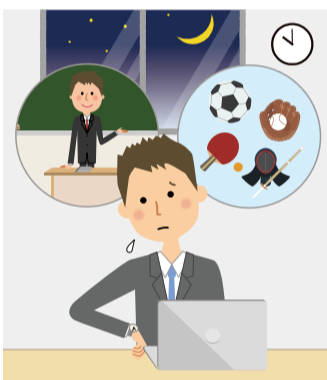
教員にも健康に働くための権利を

【問】深刻化する教員の長時間過密労働と教員不足は、解決しなければならぬ社会問題となっ

と共に自分も成長したい」等の想いはあったが、様々な業務に忙殺される学校生活では、同僚たちの病気による休職や離職が後を絶たなかった。

令和5年度、超過勤務時間が過労死ラインの月80時間を超える教員が66名、月100時間を超える教員が22名に上ったが、教員が長時間労働をしよう原因を説明すべきではないか。

【学校運営】長時間超過勤務を行っている対象者の学校長等を実態について聞き取りを行い、原因の解明を行っていく。



地域の声を反映した交通計画へ

【問】交通不便を解消し、より良い地域交通にするために「デマンド交通を考える会」が発足した。その中で、住民からの要望がある場合は、団地や町丁目ごとに説明会を開き、幅広く丁寧な説明をすることを区に要望してきたが、その後はどうか。

【交通対策】令和6年6月7日に押皿谷住区センター、同月8日に鹿浜いきいき館で説明会を開催し、2日間合計で約80名の区民が参加した。

本格運行への移行は、①一日の利用件数、②既存公共交通機関への影響、③継続意思を示すタクシー事業者数、④利用者の満足度の4つの指標を総合的に勘案しながら判断していく。

都民ファースト・無所属の会

誰もがより暮らしやすい

足立区へ向けて

都ファ・無所属 川村 みこと 議員



良い思い出の運動会とするために

【問】全ての学校の児童・生徒にとつて安心・安全な運動会となるよう、熱中症対策に特化した予算措置や対策を行う必要があると考えるがどうか。

【学校運営】各校により状況が異なるため、物品の配備状況等を調査すると共に、学校現場の意見を聴き、必要性について検討した上で予算措置を行う。

綾瀬駅西口のイメージ刷新を!

【問】綾瀬駅西口は「あやセンター」ぐるぐる」の効果もあり

足立区議会立憲民主党

誰もが住み続けたい魅力と安心のある未来の足立区へ

立憲民主党 銀川 ゆい子 議員



区長の政治姿勢を伺う

【問】近藤区長を政治家・女性として尊敬し憧れており、政治姿勢や人柄を間近で見ることができたことは、人生の宝物である。区長が政治家として大切にしていることや、人生の指針としていえるものは何か伺う。

【区長】平成9年の都議会議員選挙立候補時のキャッチフレーズは「心の政治・信頼を形に」であり、一票を投じていただいた人に何か形にして応えたいと

イメージが大きく改善されている一方、高架下の暗いイメージも残っている。鉄道各社やバス事業者、大学等と連携して、高架の橋りょうにアートを施す等更に明るく美しいまちにし、体感治安の向上や暗いというイメージの払拭を図ってはどうか伺う。

【工藤副区長】本年1月に実施した意識調査では、鉄道高架下に「あやセンター」ぐるぐる」やおしゃれなカフェができたことで肯定的な意見もあった。引き続き、関係者と協議を重ねると共に、まちづくり協議会など地域の意見を聴きながら、例えば高架下の照明の照度アップやアートの施工等、具体的な取り組みを本年12月を目途に検討・調整していく。JR東日本や東京メトロの協力も得ながらできることから実施していく。

【問】近藤区長を政治家・女性として尊敬し憧れており、政治姿勢や人柄を間近で見ることができたことは、人生の宝物である。区長が政治家として大切にしていることや、人生の指針としていえるものは何か伺う。

【問】区を更に魅力あるまちとするためには、幼児から高齢者まで住んでいるだけで英語に触れあえる環境づくりを進める必要があるが、今後の決意を伺う。

【政策経営】小・中学校での英語教育の推進や、大学と連携し

て大人を対象にした英語の学習支援等にも取り組んできた。

しかし、住んでいるだけで英語に触れあえる環境の実現は一朝一夕には困難であるため、どのような取り組みができるか全庁的に検討していく。

先進的な取り組みで高齢者を守れ

【問】一人暮らし高齢者に対する従来の支援では、今後の加速度的な高齢化に到底対応できない。試行錯誤してでも先進的な対策に取り組むべきではないか。

【高齢者】どのような取り組みが不安解消に効果的か、第9期高齢者保健福祉計画策定時に実施した高齢者実態調査の結果等からニーズを探りつつ、介護事業者等の支援する側からの意見も聴き、他自治体の取組状況も踏まえ検討していく。

輝く未来のために教材費無償化を

【問】子育て環境の充実や教育に力を入れている足立区において、小・中学校の教材費無償化を実現させ、世論を動かすと同様に、国・都をも動かす先駆けになるべきと思うがどうか。

【教育指導】無償化には10億円超の財源が必要になり、ICT機器の更新等を進めていく必要がある現状において、学用品の完全無償化は困難であると考え、引き続き、保護者の負担軽減について検討していく。



足立区議会議会改革を全力で推し進める会

全家庭に届く子育て支援を
高すぎる介護保険の低減を

議会議改革推進 土屋 のりこ 議員



生きる力の土台を守れ!

【問】言語能力は学力の基盤であり、自己実現を図るベースともなるが、親の働きかけや育児スキル、自身の生活経験の差によって、子どもたちの国語力の格差が広がっている。「子どもたちの国語力が殺されている」とまで指摘されている現状を区長はどう受け止めているのか。

【区長】子どもたちの国語力が厳しい状況であることに驚愕している。区の現状については、現場の教員から話を聞いて明らかにし、改善が必要であれば力を合わせていきたい。

生活に苦しむ区民を救う手立てを

【問】物価高が続く今、介護保険料の支払いはたとえ千円であっても苦しい状況である。介護保険料を支払う全ての中・低所得層に何らかの形で負担を低減する必要があると思うがどうか。

【高齢者】生計困難者等へ区独自の負担軽減制度を実施しているため、新たな負担軽減策を実施する考えはない。

誰ひとり、食に困らないまちへ

【問】区のフードパントリーへの補助事業は、食に困る子どもや家庭への間接的支援策として開始当初は画期的であったが、現在は他区に比べ精彩を欠く。改善すべきと思うがどうか。

【未来】区の補助内容の見劣り

日本維新の会足立区議団

区民の命を守るため、防災訓練にて自衛隊との連携を

日本維新の会 野沢 つつや 議員



統廃合後の学校の有効活用を

【問】少子高齢化による児童・生徒数の減少に伴い、区内でも学校の統廃合が行われている。一方、区内の福祉施設、特に特別養護老人ホームは圧倒的に不足しており、多数の待機者がいるため、統廃合予定の学校等を特別養護老人ホーム等、別の用途へ転用してはどうか。

【総務】現在、学校を統廃合する際に特別養護老人ホームへ転用する計画はない。地域ニーズや区の課題解決に資する用途を検討し、一校一校最終的な活用方法を判断していく。

外国人の収納向上策を!

【問】外国人に対する手続きのワンストップ窓口が必要であると同時に、国民健康保険料等の収納強化窓口の設置が必要と考えるが、その計画はあるか。

【区民】先進自治体の事例を調査・分析し、外国人に対する収納率の向上策を検討していく。

災害時の区民の安全のために

【問】地域の避難所運営訓練に参加した際、実際の災害発生時に避難する訓練として現実的なものなのか疑問が残った。今後の避難所運営訓練等においては、自衛隊と連携し、実際の経験や訓練に基づく談話を取り入れることで、より現実的な訓練になると思うがどうか。

無党派会

気づきを共に誇れる街に!
子供と大人をつなぐ足立へ

無党派会 加地 まさなお 議員



災害時のリスクを減らすために

【問】令和6年5月に行われた東京消防庁・足立区合同総合水防訓練において、自衛隊の役割の重要性を改めて認識した。自衛隊の啓発、啓蒙活動を積極的に行うべきと考えるがどうか。

【危機管理】引き続き自衛隊東京地方協力本部足立地域事業所と連携し、積極的に自衛隊の啓発、啓蒙活動に取り組んでいく。

空からの災害支援策の拡充を

【問】①震災時は車両の運行不能が想定され、屋上へのヘリポートや屋上へ荷揚げ可能な昇降設備を設置すれば、あらゆる災害に対応できると思うがどうか。

②大型ドローン等での物資輸送が可能になることは最大の強みになると考えるがどうか。

【危機管理】①空からの輸送は有用な手段と考えるため、必要性や実現可能性について基本計画策定の中で検討する。

②物資輸送可能な大型ドローンを保有していないため現時点では計画していないが、将来における活用を想定するかについては、専門家の意見を聴いて基本計画に反映するか検討していく。

教科用図書採択の適正化を求める

【問】足立区立小・中学校の歴史教科用図書採択について伺う。①教科用図書を選定する上で、学習指導要領や教育基本法にあ



る「我が国と郷土を愛する」という観点は必要不可欠であり、調査報告書を作成する上で必須と考えるが、区の見解を伺う。

②足立区の小学校では「わたしたちの足立」等を通して「郷土を愛する」教育が行われていることは理解するが、「我が国を愛する」という観点を踏まえる」と、採択要領にある「目標等を最もよく踏まえている教科用図書を選定する」から逸脱していると考えられるがどうか。

【教育指導】①文部科学省の検定に合格した教科用図書は、学習指導要領に示されている「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」ことについて網羅されているものと認識しているため、新たに「我が国と郷土を愛する」との項目を調査報告書に追記する予定はない。

②教科用図書は全て文部科学省の検定に合格したものであり、「我が国を愛する」との目標から逸脱しているとの認識はない。

第2回定例会での議決結果

区長提出議案

可決したものの

補正予算

令和6年度足立区一般会計補正予算(第2号)

補正額 33億4千134万円
予算総額 3千379億5千909万4千円

(日本共産党足立区議団より
反対討論あり)

令和6年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 2千821万9千円
予算総額 728億3千693万2千円

条例

足立区個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴うもののほか、所要の規定を整備するもの

足立区文化・読書・スポーツ推進委員会条例の一部を改正する条例

足立区文化・読書・スポーツ推進委員会の所掌事項を追加するほか、委員の総数を定めるもの

足立区文化芸術劇場条例の一部を改正する条例

足立区温水プール条例の一部を改正する条例

足立区立千寿本町小学校温水プール条例の一部を改正する

条例

足立区東綾瀬公園温水プール条例の一部を改正する条例

足立区知的障がい者大谷田グループホーム条例の一部を改正する条例

以上、5議案はいずれも指定管理者の指定に関する規定を整備するほか、所要の規定を整備するもの

足立区立立公園条例の一部を改正する条例

足立区立校外施設条例の一部を改正する条例

足立区関原の森・愛恵まちづくり記念館条例の一部を改正する条例

足立区まちづくり工房館条例の一部を改正する条例

以上、4議案はいずれも指定管理者の指定に関する規定を整備するもの

足立区事務手数料条例の一部を改正する条例

宅地造成及び特定盛土等規制法の事務が東京都から移管されること及び建築基準法の改正に伴い、手数料を整備するもの

足立区立公園条例の一部を改正する条例

指定管理者の業務範囲を変更するもの

足立区立学校設置条例の一部を改正する条例

東綾瀬中学校の位置を変更するもの

足立区子ども計画審議会条例

足立区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準等の改正に伴い、規定を整備するもの

その他の議案

積立金等返還請求に関する和解内容の変更について

足立区立新田おひさま保育園に係る積立金等返還請求に関する和解内容を変更するもの

積立金等返還請求に関する和解内容の変更について

足立区立千住保育園に係る積立金等返還請求に関する和解内容を変更するもの

調停の申立てについて

足立区立新田三丁目なかよし保育園の管理運営に関する年度協定書に基づき概算払で



本会議の様子

足立区南花畑五丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

地区計画の決定に伴い、規定を整備するもの

支払った令和2年度の管理運営委託料の精算額の返還を求めめるもの

西新井第一小学校人工芝・給食場内装・北側舗装改修工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 2億2千万円
相手方 太和工業株式会社

西保木間小学校全体保全計画にかかる校庭改修その他工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 2億4千750万円
相手方 太和工業株式会社

東伊興小学校外壁改修その他工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 2億4千2万円
相手方 株式会社齋藤塗装店

竹の塚中学校外壁改修その他工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 1億8千40万円
相手方 株式会社OKAPEN

入谷中学校全体保全計画にかかる外壁改修その他工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 3億7千928万円
相手方 株式会社彩光建設東京支社

加賀中学校外壁改修その他工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 1億9千503万円
相手方 一新建設株式会社

本庁舎北館大規模改修工事第1期請負契約

契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 5億8千300万円
相手方 白谷建設株式会社

本庁舎北館大規模改修電気設

備工事第1期請負契約

契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 5億7千640万円
相手方 幸信電気株式会社

本庁舎北館大規模改修機械設備工事第1期請負契約

契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 2億8千490万円
相手方 やんま株式会社

五兵衛橋架け替え工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 16億600万円
相手方 北野建設株式会社東京本社

地域内輸送拠点用テント(エアテント)の購入について

契約方法 指名競争入札
契約金額 1億3千874万9千600円
相手方 帝商株式会社

回転釜の買替え及び回転釜専用しゃもじの購入①について

契約方法 指名競争入札
契約金額 3千449万6千円
相手方 新日本厨機株式会社城北営業所

食器洗浄機の買替えについて

契約方法 指名競争入札
契約金額 3千448万5千円
相手方 イズミ商事株式会社

東綾瀬中学校改築工事請負契約の変更について

変更前 50億8千675万2千円
変更後 53億3千580万3千円
相手方 三浦・田中・新井建設共同企業体

報告

令和5年度足立区一般会計繰越明許費計算書

令和5年度繰越明許費に係る歳出予算の繰越について報告するもの(54億4千787万2千円)

令和5年度足立区一般会計繰越明許費計算書

令和5年度事故繰越に係る歳出予算の繰越について報告するもの(1億1千872万8千円)

訴えの提起について

児童扶養手当の過払金を返還しない相手方に対し、未償還金、遅延損害金及び手続費用を請求するもの

和解について

区立中学校野球部が使用していたボールが相手方の家屋の屋根にあたってため、屋根に破損がないか調査を行った費用の賠償について和解するもの

議決を得た契約の変更について

鹿浜西小学校解体工事請負契約 ほか8件

議員提出議案

可決したものの

東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について

ただ太郎議員を推薦するもの

若年者における医薬品のオーバードーズ(過剰摂取)対策の強化を求める意見書

(令和6年7月10日に議決し、関係機関に提出しました。意見書の全文は、次のとおりです。)

厚生労働省の「医薬品の販売制度に関する検討会」(以下、「検討会」という。)の資料によると、精神医療施設における市販薬を主たる薬物

とする依存症患者が2012年から2020年にかけて約6倍と急増している状況や、高校生の約60人に1人が過去1年以内に治療目的ではなく濫用目的で市販薬を使用した経験があるといったデータが示されている。

また、職場や学校におけるストレスや所得格差の拡大等、社会の歪みによる生きづらさからの現実逃避や精神的苦痛緩和のためにオーバードーズ(過剰摂取)に陥るケースが多く、その結果、肝機能障害や重篤な意識障害等の発症や心肺停止で死亡する事例も発生しており、重大な社会問題となっている。

このような状況から、検討会では、身分証の提示等による購入者の氏名・年齢等の確認及び記録の作成や購入者の状況確認を義務づける等の方策を示しているが、オーバードーズに陥る若年者は増え続けているとともに低年齢化も進んでおり、依然として深刻な状況のままである。

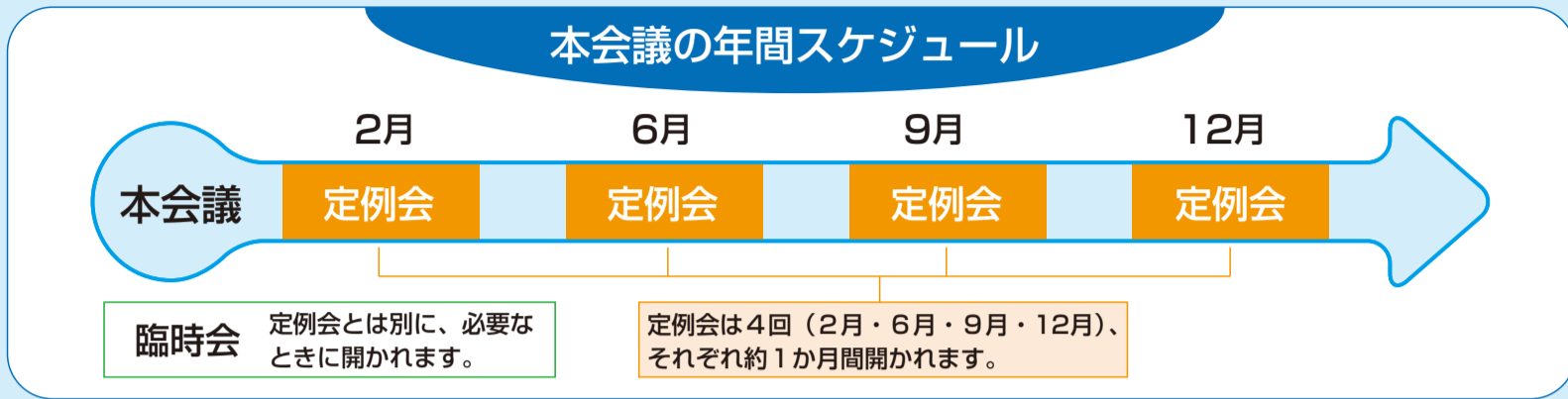
よって、足立区議会は国会及び政府に対し、医薬品のオーバードーズによる健康被害から一人でも多くの若年者を守るため、下記の事項について一刻も早く取り組むことを強く求めるものである。

記

1 購入者が若年者(高校生、中学生等)である場合、濫用目的でないことを確認し、副作用等の説明を必須とすること。また、必要に応じて適切な相談窓口を紹介で

定例会の流れをご紹介します。

足立区議会では、毎年2月、6月、9月、12月の年4回、区の重要事項を決定する『定例会』を開会しています。ここでは、その一般的な流れをご紹介します。



一般質問

『一般質問』では、区政一般とその方針について議員が執行機関に質問します。



本会議場

定例会初日からの3日間は『一般質問』が行われるのが通例です。事前に提出した『質問通告書』の事項にしたがって本会議で議員が質問を行い、執行機関が答弁(回答)します。

議員の質問は演壇で行われます。

議案の審査

議案は大きく分けて『区長提出議案』と『議員提出議案』の2種類があります。

一般質問の終了後、提出された議案を、所管の委員会に付託します。委員会で議案の審査を行うため、本会議は一時休会します。

区長提出議案 予算、決算、条例、一定額以上の契約など区長が提出するもので議案の大半を占めます。

議員提出議案 一定数の議員(足立区議会では最低4名必要)や委員会が提出するもので、主なものは下記のとおりです。

- ・ 条 例：国の法律の範囲内で定める地方自治体の自主法
過去に可決した議員提出条例(一部抜粋)
『足立区ながらスマホの防止に関する条例』(令和2年第2回定例会)
『足立区拉致問題等啓発推進条例』(令和3年第2回定例会)
- ・ 意見書：国や都などに対し、区だけでは解決できないことに関して議会としての意見をまとめて提出するもの
令和6年に可決した意見書
『学校のICT環境整備の持続的・継続的な推進と十分な財政措置を求める意見書』(第1回定例会)
『認知症との共生社会の実現を求める意見書』(第1回定例会)
『被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書』(第1回定例会)
『若年者における医薬品のオーバードーズ(過剰摂取)対策の強化を求める意見書』(第2回定例会)

委員会の開催

議案を本会議において議員全員で審議するのは難しいため、少人数の『委員会』で課題を分野別に審査します。

委員会では議案についての質疑等を行い、委員による賛成若しくは反対の意見表明の後、委員会としての審査結果を出します。

委員長が委員会を進行します。



委員会室

本会議での議決

委員会の審査が終了後、各委員長からの審査報告書の提出を受けて定例会の最終日に議決が行われるのが通例です。

全ての議案の審議が終了すると、議長から閉会が告げられ、定例会は終了します。

議長が本会議を進行します。



起立採決の様子